

# 富医ニュース

No.576 令和1年11月1日

一般社団法人 富田林医師会  
会長 宮田 重樹  
〒584-0082 富田林市向陽台1丁目3-38  
TEL.(0721)29-1210 FAX.(0721)28-0858  
E-mail: mail@tondabayashiishikai.jp

## とんだばやし 健康市民フォーラム



～運動⇨健康⇨笑顔のまち富田林！～

令和元年 **11月23日** (土・祝)

定員800人  
(入場無料)

★すばるホール2階

ホール 14:00～16:10 (開場13:30)

小ホール 11:00～13:00 ※手話通訳・要約筆記あり

ホール

### 健康いきいきトークライブ

#### 「体と心の健康コミュニケーション」

ソウル・バルセロナ五輪 メダリスト

池谷 幸雄氏

池谷幸雄氏は、4歳のころから体操を始め、1988年ソウル五輪、1992年バルセロナ五輪において2大会連続でメダルを獲得するという、輝かしい戦績を残されました。1992年秋からはタレント、体操指導者などさまざまなジャンルで活躍されています。

ホール

### 『市民参加型』パネルディスカッション

#### 「世代を越えた運動と健康」

子どもから高齢者まで幅広い世代がいつまでも健康でいきいきと過ごしていくために、さまざまな分野の専門職がそれぞれの立場から意見を交わします。会場のみなさんからも質問・意見を受け付け、ディスカッションにご参加頂けます。



令和2年 新年会のご案内



◆日時 令和2年1月25日(土) 18時～20時(宴会です)

◆場所 帝国ホテル大阪 4階 芙蓉の間

準備の都合上、出欠のお返事を 11月29日(金) までに当会事務局宛に  
お願い申し上げます。

#### 調整日

10月分 11月7日(木)  
PM3:00まで

11月分 12月6日(金)  
PM3:00まで

#### 11月の予定

- 7日(木)・調整日
- 8日(金)・理事会
- 13日(水)・救急災害医療委員会
- 14日(木)・学校医部会研修会
- 16日(土)・あすか会
- 18日(月)・訪問看護ステーション  
運営委員会
- 21日(木)・学術講演会
- 22日(金)・広報調査委員会
- 23日(祝)・とんだばやし健康市民  
フォーラム
- 26日(火)・休日診療委員会  
・広報調査委員会  
(校正)



## 令和元年度 10月定例理事会

日 時 令和元年10月11日(金)  
13:30より  
場 所 医師会 特別会議室

### 会長挨拶

### 報告事項

- 1) 富田林薬剤師会事業 協力について
- 2) 乳幼児医療費(子ども医療費)助成の対象年齢拡大等について(河南町)
- 3) 地域医療構想の実現と調整会議での議論活性化に向けた更なる取組としての再検証対象医療機関の公表と医師会病院を含む民間の地域医療支援病院について
- 4) ステーションの運営状況について(前田理事)
- 5) 藤井寺保健所での南河内精神医療懇話会での報告「妊産婦のメンタルヘルスについて」
- 6) 医師会70周年記念冊子について

### 協議事項

- 1) 入退会の件
- 2) 令和元年度あすか会の開催について 11月16日大規模災害について赤松副会長発表
- 3) 日本医師会認定健康スポーツ医に関するアンケートの協力依頼の送付について福田先生に依頼
- 4) 糖尿病性腎症重症化予防アドバイザー事業について
- 5) 三師会40周年について

## 令和元年度 学校医部会研修会

日 時: 令和元年11月14日(木) 14:00~15:30  
会 場: 医師会 大会議室

### 【テーマ】

「児童虐待の早期発見と発生予防における

教育・医療・保健・福祉機関連携」

【講 師】 大阪府健康医療部保健医療室地域保健課

参事 浅田 留美子 先生

本会は、生涯教育制度1.5単位、取得カリキュラムコード「2」、「11」、「12」を申請中です。当日は生涯研修チケットをご持参ください。また、大阪府医師会指定学校医認定研修の申請もしております。

## 富田林医師会学術講演会

日 時: 令和元年11月21日(木) 14:00~15:00  
会 場: 医師会 研修室

### 【プログラム】

座長 くにさだ医院 國定 慶太先生

「頸部リンパ節腫脹について」

演者 富田林病院 耳鼻咽喉科

部長 森 一功 先生

頸部リンパ節腫大をきたす耳鼻咽喉科疾患は多彩であり、炎症または腫瘍によるものが代表的です。

人の頸には多くのリンパ節が存在し、頸部リンパ節炎はリンパ節に炎症がおこり痛みや腫脹がみられる場合をいいます。炎症の原因にはウイルスや細菌の感染による急性リンパ節炎や慢性リンパ節炎などがあり、まれに結核性のリンパ節腫脹がみられることがあります。

この他には癌の転移性リンパ節との鑑別が重要です。また悪性疾患の初発症状であることも少なくないため注意が必要です。

本講演は、大阪府医師会生涯研修システム登録しておりますので、生涯教育チケットをご持参下さい。生涯教育制度1単位、取得カリキュラム「25」リンパ節腫脹、「28」発熱、を申請中です。

## 専門医より一言



大阪南医療センター

循環器疾患センター

部長 安岡 良典 先生

我が国は平均寿命が男女とも80歳を超え、すでに超高齢化社会を迎えています。死因の第1位は30年以上、悪性新生物で変わりありませんが心疾患が第2位となっています。虚血性心疾患の治療である冠動脈インターベンション(PCI)はすでに成熟期に入り20世紀末に登場した薬剤溶出性ステント(DES)も第二世代DESでは優れた臨床成績が相次いで報告されています。PCIは我々基幹病院の責務であり当院では24時間365日緊急で施行できる体制を整えていますので実地医家の先生方には一次予防、二次予防の両視点から地域医療を支えて頂ければ心強いです。一方、心不全に目を向けますと高血圧症、脂質異常症、



糖尿病などの生活習慣病の増加、複数の疾患を合併した高齢者の増加に伴い心不全患者数そのものが増加しいわゆる“心不全パンデミック”とも表現されています。

不整脈の領域ではカテーテルアブレーションの進歩が目覚ましく当院でも2017年に本格的にスタートし特に心房細動に対するアブレーションがその治療成績の向上とともに増加傾向にあります。実臨床においては無症候でもあり基幹病院へ紹介する程ではないけれど、検査だけはしておきたいというようなcaseが少なからず存在することかと思えます。当院では心疾患スクリーニングセット検査を行っておりますので是非、ご活用頂き、先生方の日常診療の一助になれば幸甚です。お問い合わせは地域医療連携室まで。

### 富田林三師会創立40周年記念式典

令和元年10月26日(土)スイスホテル南海大阪8階浪華の間で富田林三師会40周年記念式典が行われました。医師会34名、歯科医師会21名、薬剤師会29名が出席されました。40周年記念式典は記念講演と祝賀会の二部構成で行われました。



17時30分から富田林医師会会長宮田重樹先生から開会の挨拶があり、その後、式典の第一部として富田林保健所と共催で記念講演が行われました。『骨粗鬆症治療薬の使い分けと副作用(顎骨壊死等)の対策』という演題で大阪南医療センター総括診療部長橋本淳先生にご講演いただき、骨粗鬆症治療の地域連携として、医師会では的確な骨粗鬆症の診断と治療法についての病診連携、歯科医師会では顎骨壊死の対策方法、薬剤師会では的確な服薬指導が重要であり、今後三師会で連携して骨粗鬆症による骨折予防を推進

することが大切であるとのことでした。

その後、式典第二部の祝賀会が18時40分から開始となりました。

医師会副会長藤岡洋先生の司会で祝賀会開始の挨拶があり、次いで来賓として富田林市長 吉村善美氏、河南町長 武田勝玄氏、千早赤阪村 副村長 清水秀都氏、富田林保健所長 永井仁美氏、富田林市消防本部 消防長 京谷倫之助氏、大阪南医療センター総括診療部長 橋本淳氏、富田林病院長 宮崎俊一氏が紹介され、富田林薬剤師会会長 大橋先生の乾杯のご発声で開演となりました。開演後に歯科医師会の瀧先生から昭和52年から三師会が発足して現在に至った経緯についてのお話がありました。続いて医師会、歯科医師会、薬剤師会の各先生方の紹介と挨拶がありました。各先生同士の会話は



ずみ、楽しい情報交換の場となり、最後に富田林歯科医師会会長の内田先生の閉会の挨拶があり、盛会のうちにお開きとなりました。

### \* 鉄道トリビア ~京阪電車物語その3~

飛ぶ鳥を落とす勢いで拡大してきた京阪を襲った昭和の大恐慌の嵐。債務超過に陥り瀕死の状態となった京阪は、まず和歌山の電気事業を売却。京阪間の電力事業もスリム化して延命を図ります。電気がなければ電車も動かせなくなるからです。しかし更にここで戦争という大波が京阪に追い打ちをかけてきます。1941年、配電統制令の名のもとに電力事業は国の統治下におかれ、関西電力となります。同年、陸上交通

## 10月行事・会合

- 1日(火)・休日診療委員会
- 7日(月)・会長副会長連絡会議
- 8日(火)・調整日
- 11日(金)・理事会
- 17日(木)・学術講演会
- 21日(月)・訪問看護ステーション 運営委員会
- 24日(木)・広報調査委員会
- 26日(土)・三師会40周年記念式典
- 28日(月)・会長副会長連絡会議  
・広報調査委員会(校正)
- 29日(火)・休日診療委員会

## 医師資格証の見本

緊急時の身分証、JAL DOCTOR登録制度講習会受付、研修会受講履歴単位管理等に利用できます。



統制法により子会社の阪和電鉄(現JR阪和線)は南海電鉄と合併する形で召し上げられ、京阪自体も阪急電鉄と強制合併させられてしまいます。こうしてもこの10年ほどで、近畿圏に栄華を誇った京阪は時流の波に飲み込まれてしまいます。非常事態とはいえ、この戦時中の強制令は今の日本では考えられないことで、戦争はしてはいけないあとつくづく思います。

戦後、情勢が落ち着いてくると強制的に合併させられた会社の分離独立の機運が高まり、1949年に京阪は阪急と分離独立します。この際の役員会議において新京阪線(天六～京都西院)は阪急側に残る形での独立が提案されます。元京阪の役員は当然この案に反対しますが、合併中に淡路から十三に至る阪急宝塚線への連絡線が作られていたこと、新京阪線は京阪本線と直接つながっていなかったこと、そして役員会議において阪急側の役員の数が多く、多数決で押し切られる形になり、京阪は泣く泣く新京阪線を阪急に渡す形での独立を選ばざるを得なかったのです。その後も不幸は続きます。近鉄と共同出資して作った奈良電気鉄道(京都～奈良)。戦後両社は株式保有による主導権争いを繰り返します。しかし京都～奈良間という地理的事情と並行国鉄線の整備が進み、奈良電気鉄道の経営状態が悪化してくると喧嘩も続けていくわけにはいかず、結局持ち株比率の多かった近鉄に軍配があがります。その見返りとして、同エリアのバス運行は京阪バスが担うこと、京福電気鉄道を奈良電気鉄道の代わりに近鉄から譲り受けることで合意します。近鉄京都線沿線に京阪バスが走っているのは、こうした経緯の結果なのです。

まとめてみましょう。大阪・和歌山間に作った阪和電鉄は南海と合併させられた上に戦後国がぶんどり、JR阪和線となりました。京都・奈良間の奈良電気鉄道は近鉄京都線になりました。当時の最高技術で建設し、名古屋への進出を夢見た新京阪線は阪急に奪われ阪急京都線となり、まさかのライバル路線に。京阪に残ったのはカーブ式会社と擲擄された本線と琵琶湖への京津線、宇治線だけとなりました。時代の波に翻弄され、文字通り京阪エリアだけになった京阪電車。しかしここから京阪は、与えられた状況の中で生き残りをかけたアイデアをどんどん出していくこととなるのです。今回はこの辺で。(zenkun)

- 会員数(11月1日現在) 189名  
A会員 96名 B会員 92名 C会員 1名
- 入会 10月11日  
板垣 信生 A2B(PL病院 内科・腎臓内科)
- 退会 なし
- 異動 なし

## 広報調査委員会

委員長	齊藤 謙介	副委員長	森井 秀樹
委員	青山 賢治 江村 俊也 遠山 佳樹 山本 善哉	天城 完二 奥野 敦史 中村 元 山村 友良	植村 匡志 尾多賀雅哉 藤岡 洋